

DNP

DIGITAL PHOTO PRINTER

DS-RX1 HS

DS-RX1

プリンタドライバ 取扱説明書

For Windows XP

●安全上の注意に関して

ご使用の前にプリンタのユーザズマニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。また使用上のご注意や安全上のご注意等、安全に関するユーザズマニュアルが作成された時点での基準に応じた内容となっておりますのでご了承ください。

●改造に関して

DS-RX1 プリンタ及び DS-RX1 プリンタドライバとCDの内容物について、製品安全の為、改造することを禁止します。

●著作権に関して

この製品に付属する文書、プログラム等に関する著作権、商標権その他一切の知的財産権は大日本印刷株式会社またはその他の権利者に帰属しています。適用法令上許容される場合を除き、大日本印刷株式会社の承諾を得ることなく、これらを複製等して使用することはできません。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
LEADTOOLS Copyright (C) 2007 LEAD Technologies, Inc.
The ICC profile is prepared by the technology of X-Rite.

目次

第1章 インストール	1
1.1 プリンタとパソコン本体の接続	1
1.2 新しいハードウェアの検出ウィザード	1
1.3 プリンタの追加からのインストール	5
第2章 プロパティ	11
2.1 プリンタのプロパティの起動	11
2.2 印刷設定機能説明	12
2.2.1 レイアウト	12
2.2.2 詳細オプション	13
2.2.3 用紙／品質	17
2.2.4 用紙オプション	17
2.2.5 色調整	18
2.3 各設定項目の初期値	19
2.4 色の管理	20
2.5 画像サイズ	21
2.6 印刷の向き	22
第3章 ドライバの更新	23
第4章 ドライバの削除	25

第 1 章 インストール

1.1 プリンタとパソコン本体の接続

DS-RX1 プリンタの電源を投入し、USB ケーブルでプリンタとパソコン本体を接続してください。
※接続に関しては DS-RX1 プリンタのユーザーズマニュアルをご参照下さい。

接続後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動された場合には、『1.2 新しいハードウェアの検出ウィザード』の手順でインストールを行ってください。「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動しない場合には、『1.3 プリンタの追加からのインストール』に従ってインストールを行ってください。

1.2 新しいハードウェアの検出ウィザード

「一覧または特定の場所からインストールする (詳細) (S)」が選択されていることを確認し、「次へ (N)」をクリックして下さい。

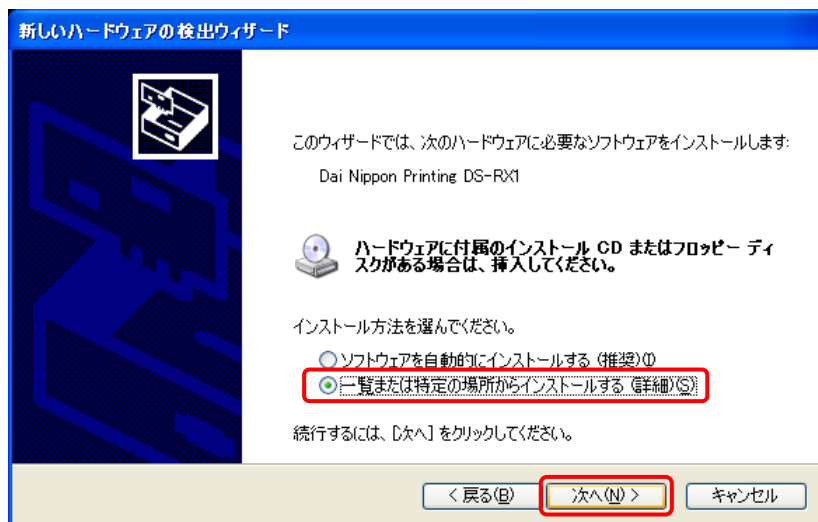
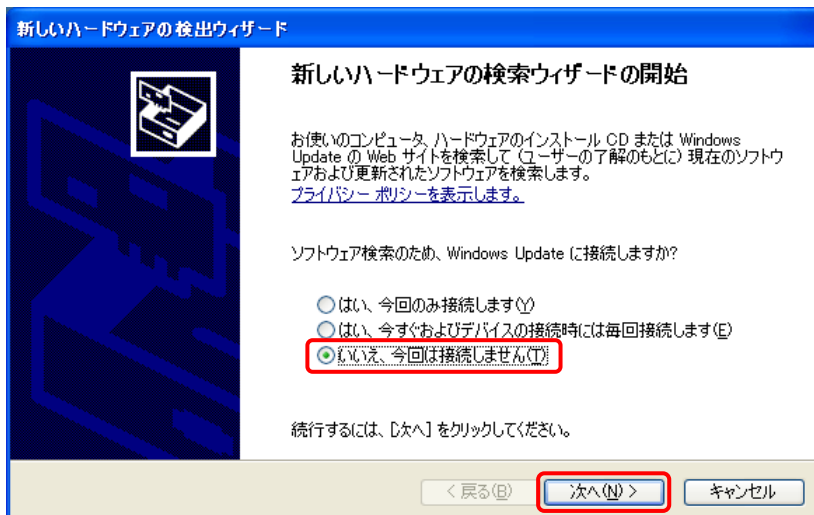


図 1.1 新しいハードウェアの検出ウィザード

注意) Windows XP SP2 以降をご使用時、新しい検索ウィザード開始で次の画面が表示された場合は「いいえ、今回は接続しません (T)」を選択して、「次へ (N)」をクリックして下さい。



「次の場所で最適のドライバを検索する(S)」を選択し、「次の場所を含める(Q)」にチェックが付いていることを確認します。「参照(R)」ボタンでインストールディスクの場所を選択し、「次へ(N)」をクリックして下さい。

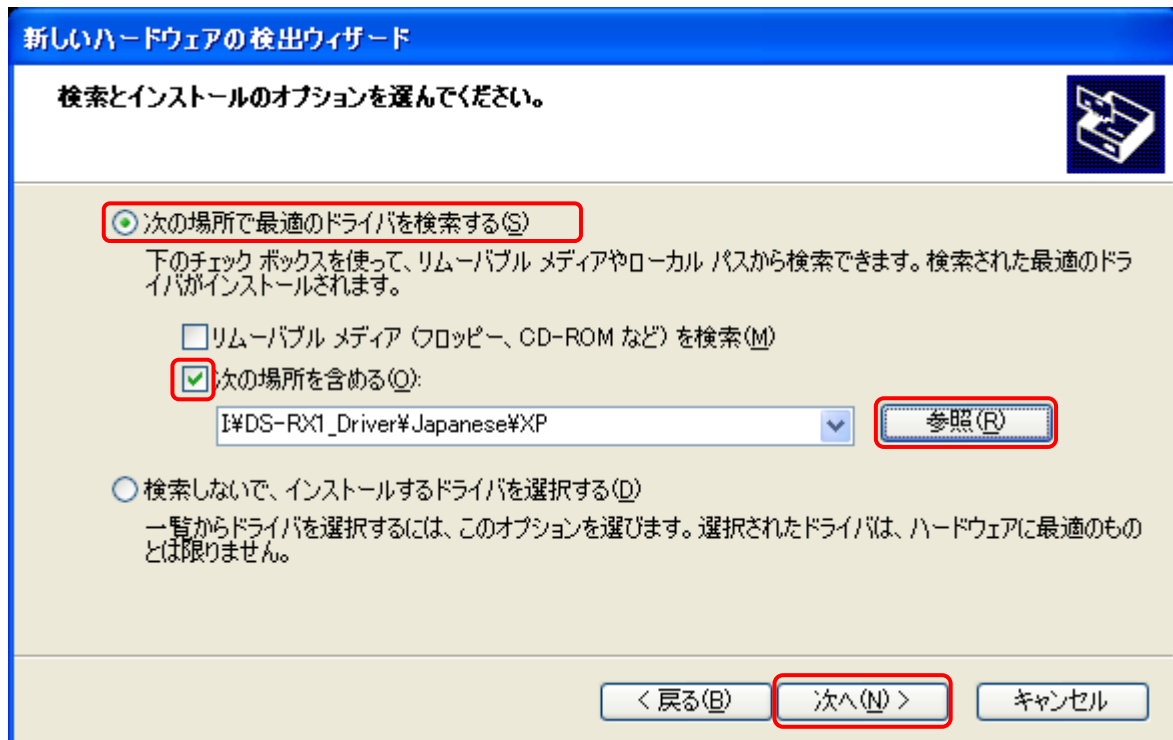


図 1.2 検索とインストールのオプション

ドライバファイルの検索終了後、ソフトウェアのインストールが開始されます。インストールには多少の時間がかかります。

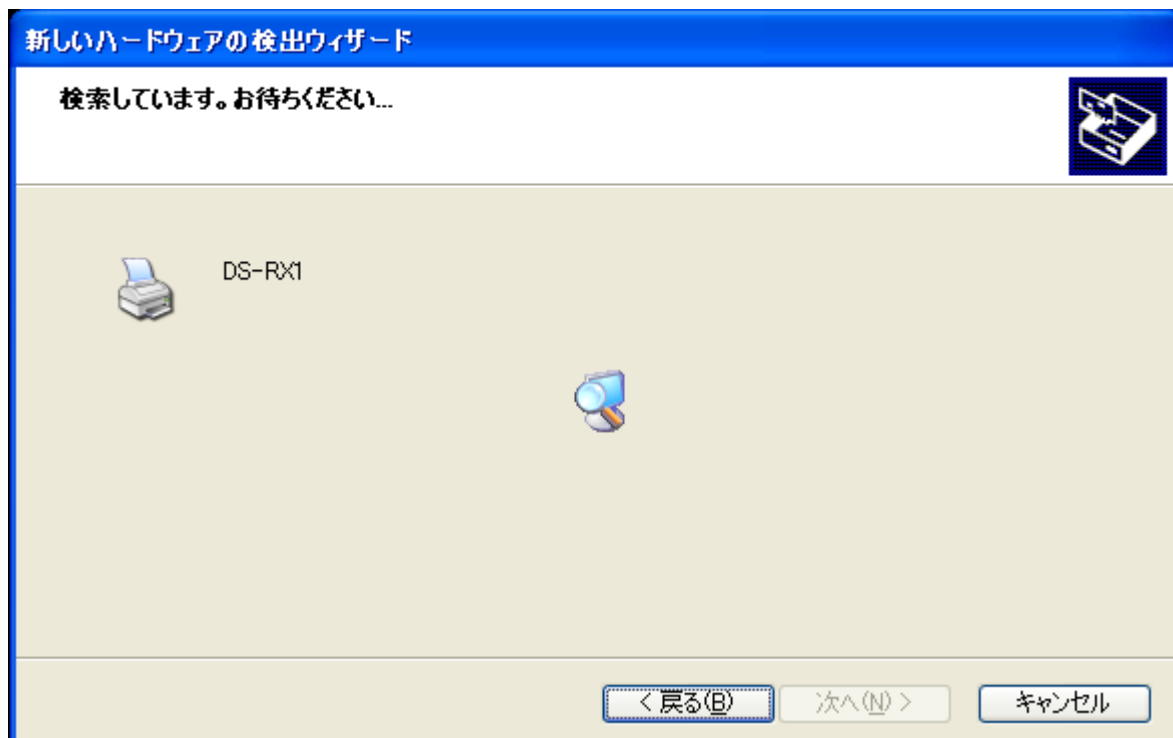


図 1.3 ソフトウェアのインストール

アップグレードインストールにて下図が表示された場合、“バージョン”の部分を確認し、最新のバージョンを選択して「次へ(N)」ボタンを押して下さい。

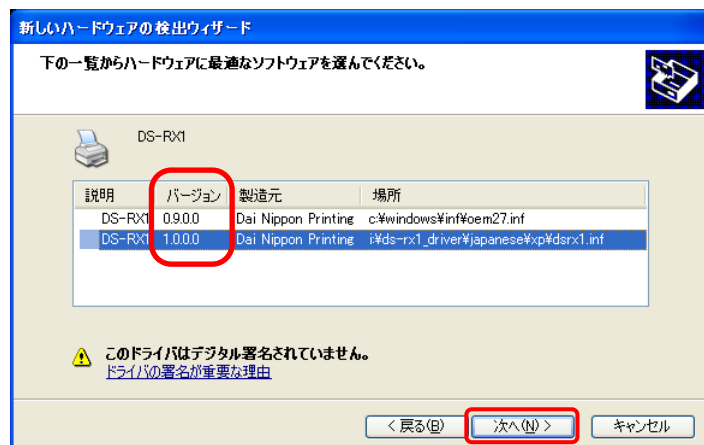


図 1.4 ソフトウェアの選択

ソフトウェアをインストールする際に下図が表示されます。「続行(C)」をクリックしてインストールを継続して下さい。

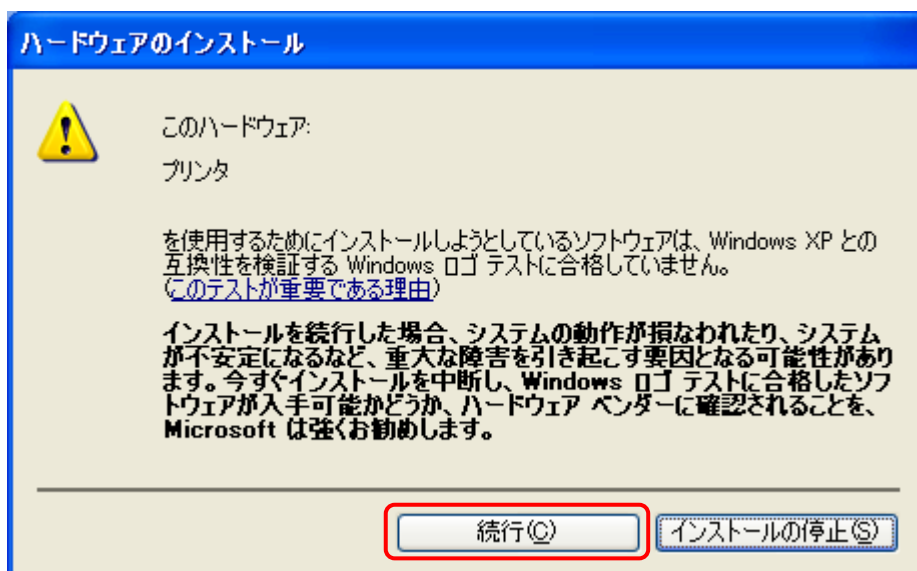


図 1.5 ハードウェアのインストール

図 1.2 で「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索」にチェックが入っていた場合、下図のメッセージが表示される場合があります。この場合、ドライバインストール CD-ROM を挿入し OK ボタンを押して下さい。

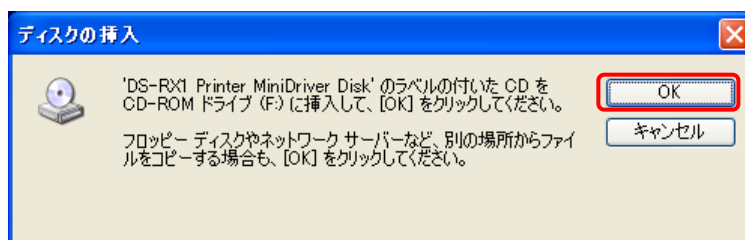


図 1.6 ディスクの挿入

図 1.6 で OK を押した時に下図メッセージが表示された場合は、「参照」ボタンでインストールディスクの場所を選択して OK ボタンを押して下さい。



図 1.7 ファイルが必要

「完了」をクリックしてプリンタのウィザードを終了して下さい。

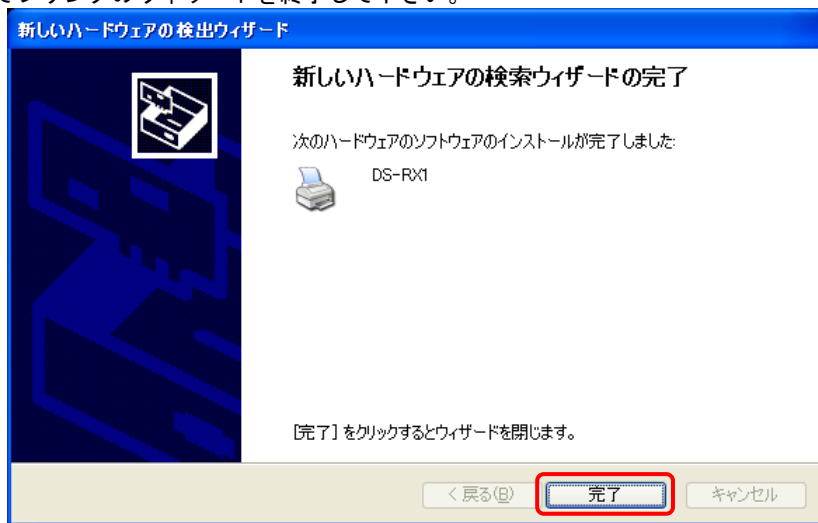


図 1.8 新しいハードウェア検出ウィザードの完了

「スタート」-「プリンタと FAX」を選択して「DS-RX1」が表示されていることを確認して下さい。

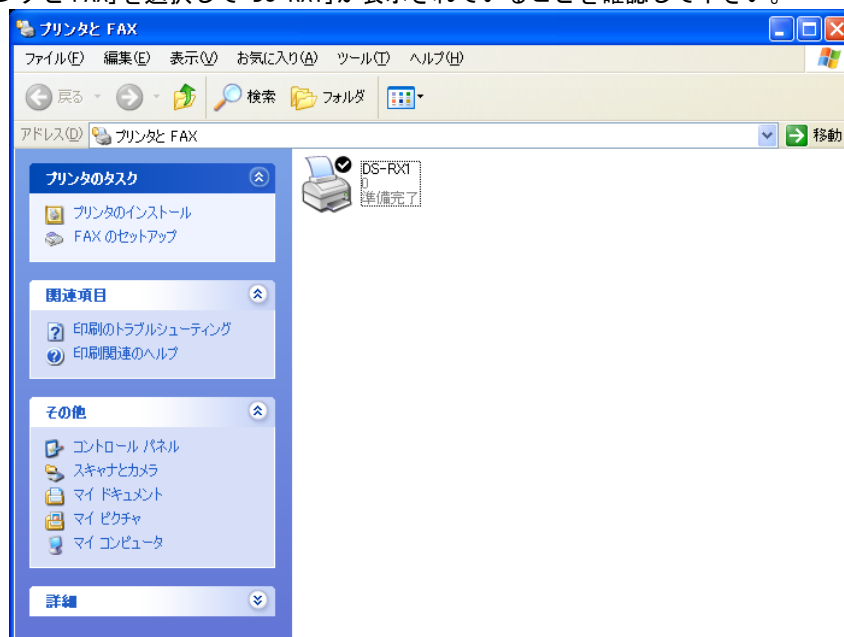


図 1.9 プリンタと FAX

プリンタドライバのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動してください。

1.3 プリンタの追加からのインストール

「スタート」－「プリンタと FAX」を選択して下さい。

(ご使用のパソコンによっては「プリンタと FAX」が表示されない場合があります。その場合は「スタート」－「コントロールパネル」－「プリンタとその他のハードウェア」－「プリンタと FAX」を選択してください)

「プリンタのインストール」をクリックしてください。

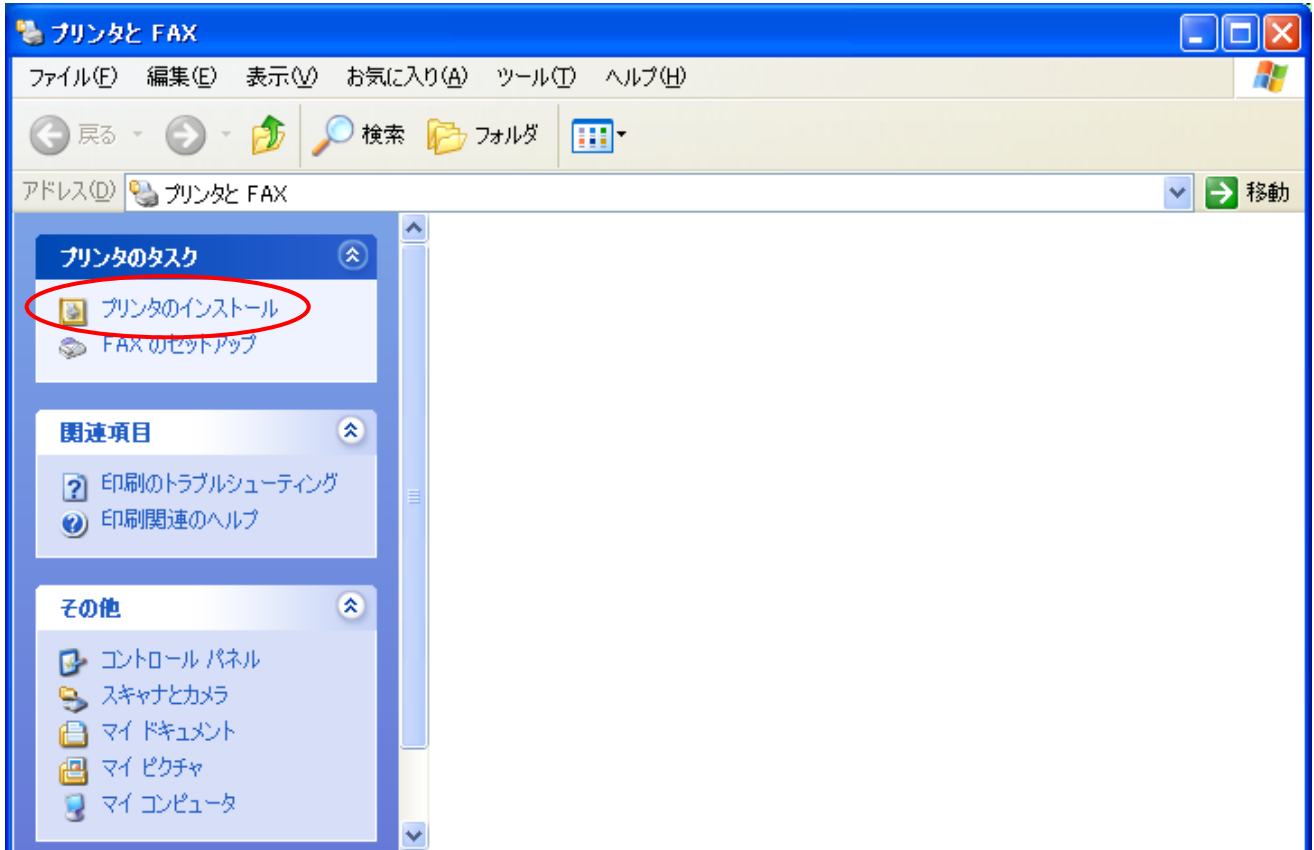


図 1.10 プリンタと FAX

「プリンタの追加ウィザードの開始」画面が表示されたら「次へ(N)」をクリックしてください。

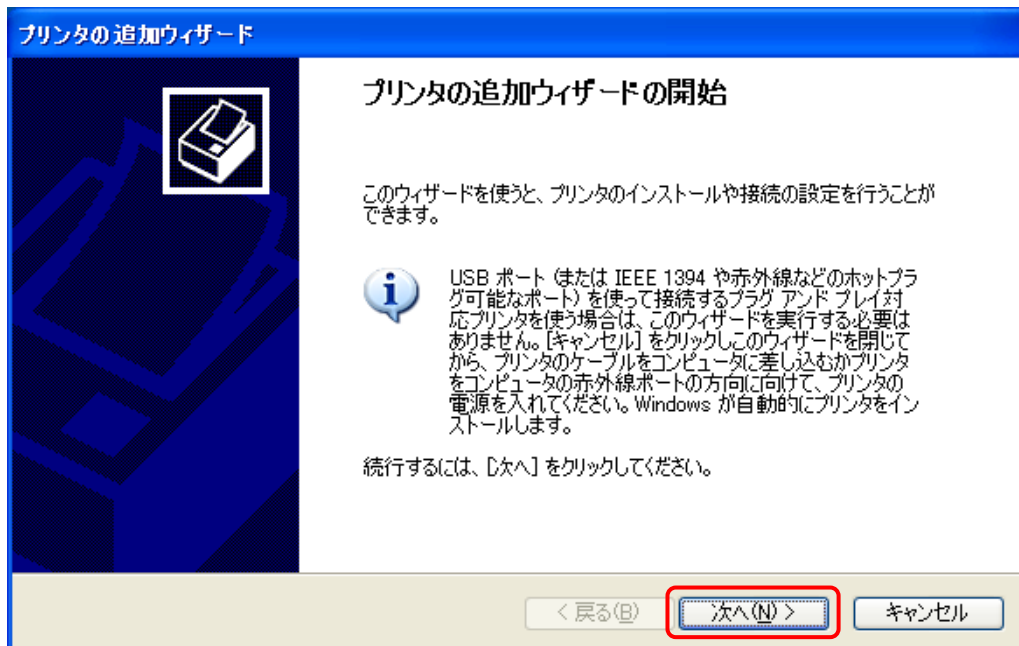


図 1.11 プリンタ追加ウィザードの開始

「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」の画面が表示されたら、「ローカルプリンタ(L)」を選んで、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする(A)」のチェックマークをはずし、「次へ(N)」をクリックしてください。

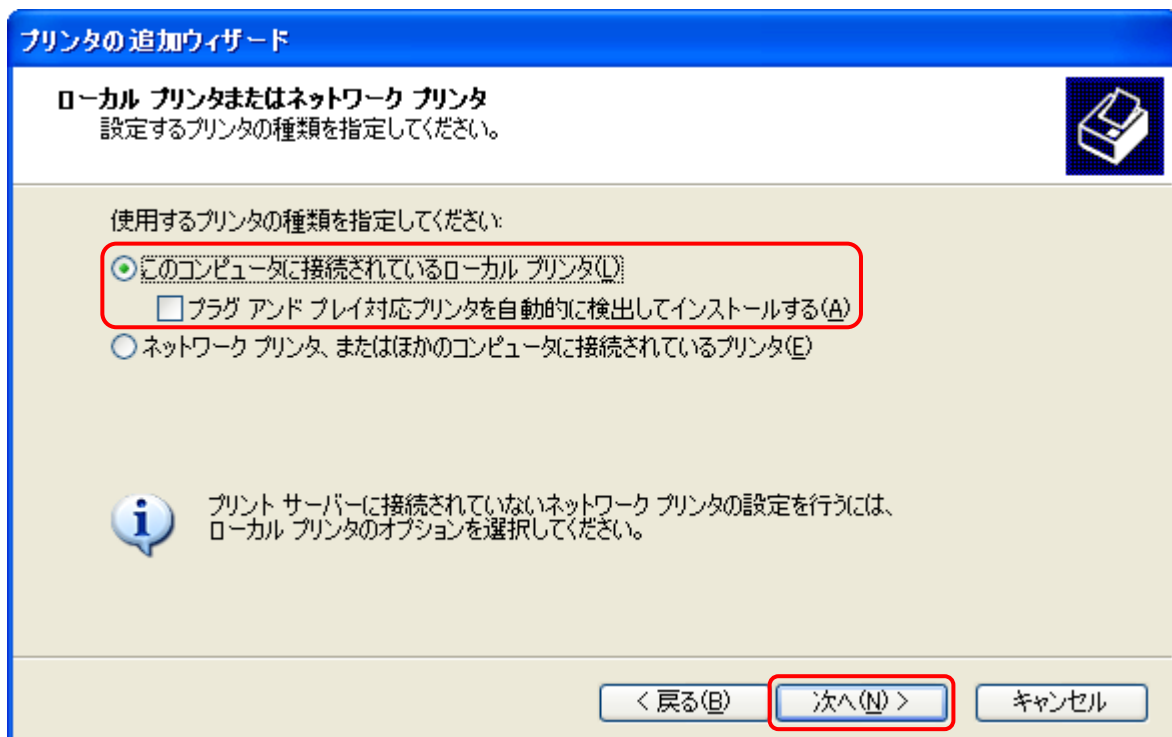


図 1.12 ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ

「プリンタポートの選択」画面が表示されたら、「次のポートを使用(U)」を選んで、ドロップダウンリストからプリンタを接続している USB ポートを選択し（「USB001」など）、「次へ(N)」をクリックして下さい。

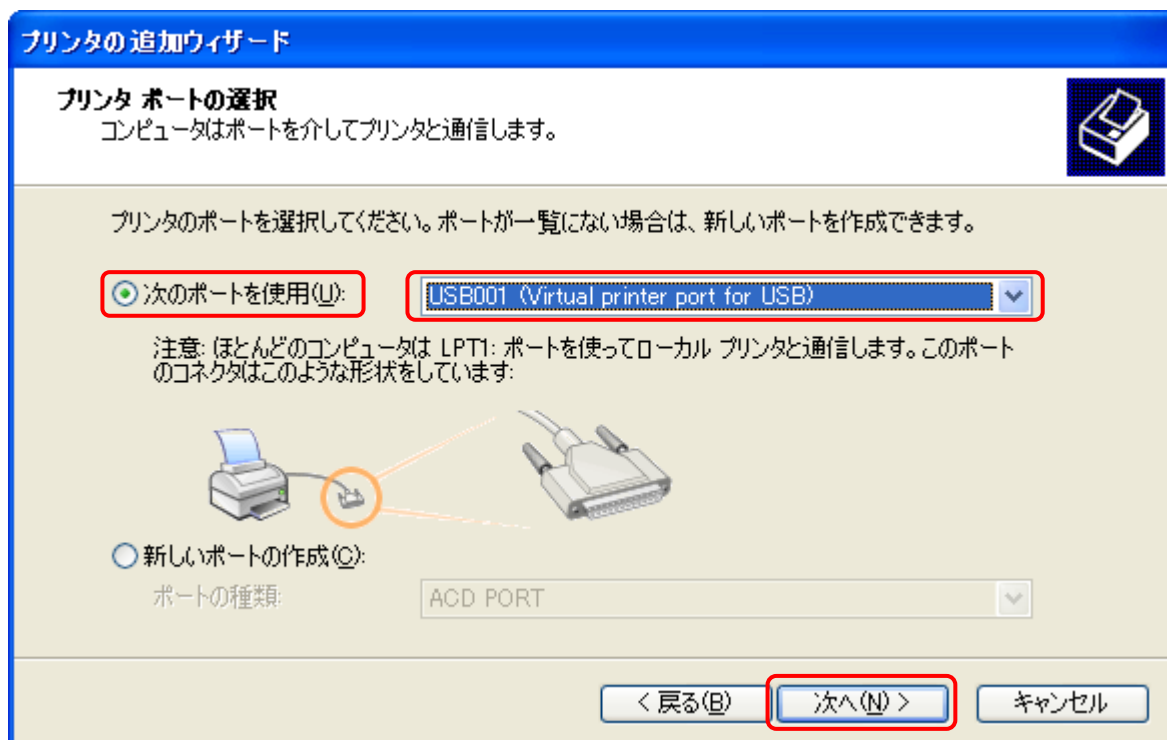


図 1.13 プリンタポートの選択

「プリンタソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、「ディスク使用(H)」をクリックして下さい。

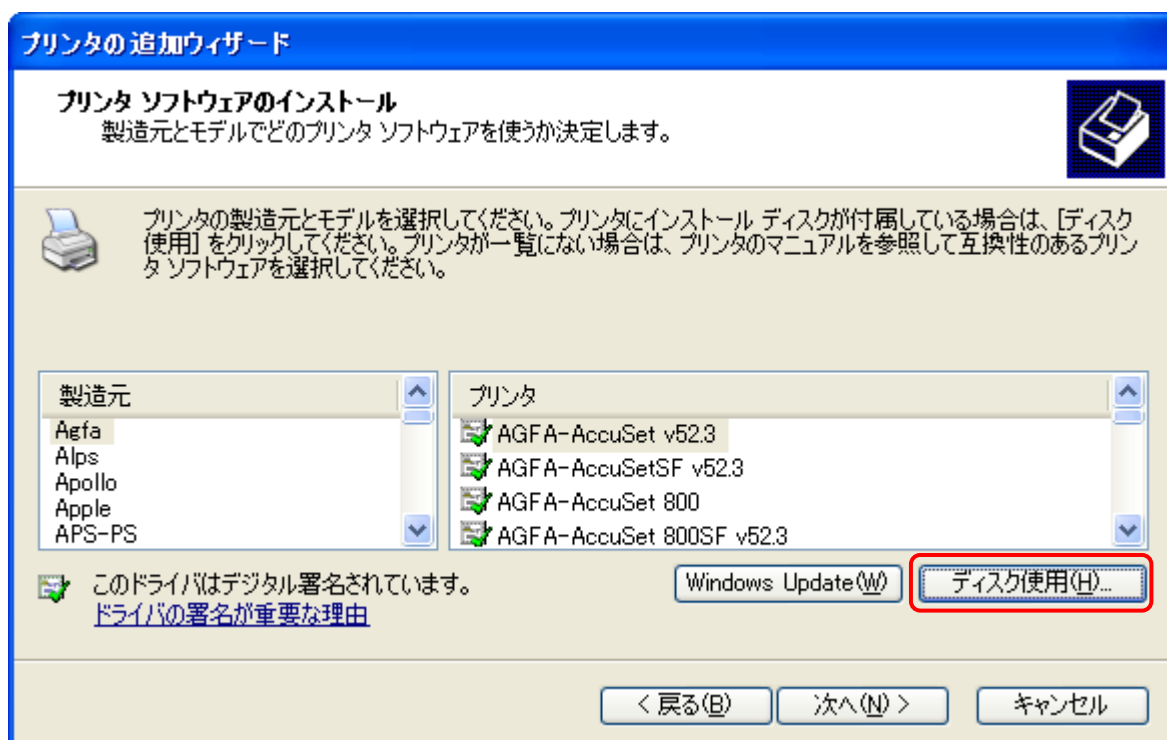


図 1.14 プリンタソフトウェアのインストール

「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されたら、「参照(B)」でインストールディスクの場所を選択して下さい。

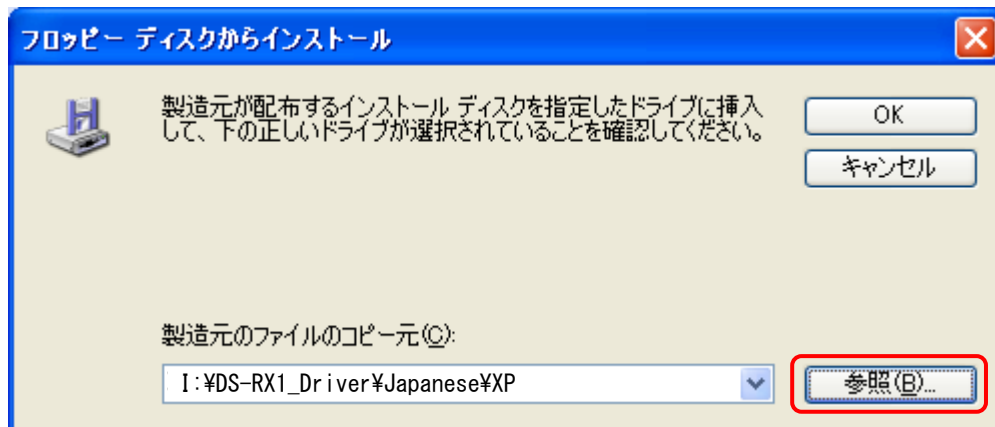


図 1.15 フロッピーディスクからインストール

「DS-RX1」が表示されていることを確認した後、「次へ(N)」をクリックしてください。

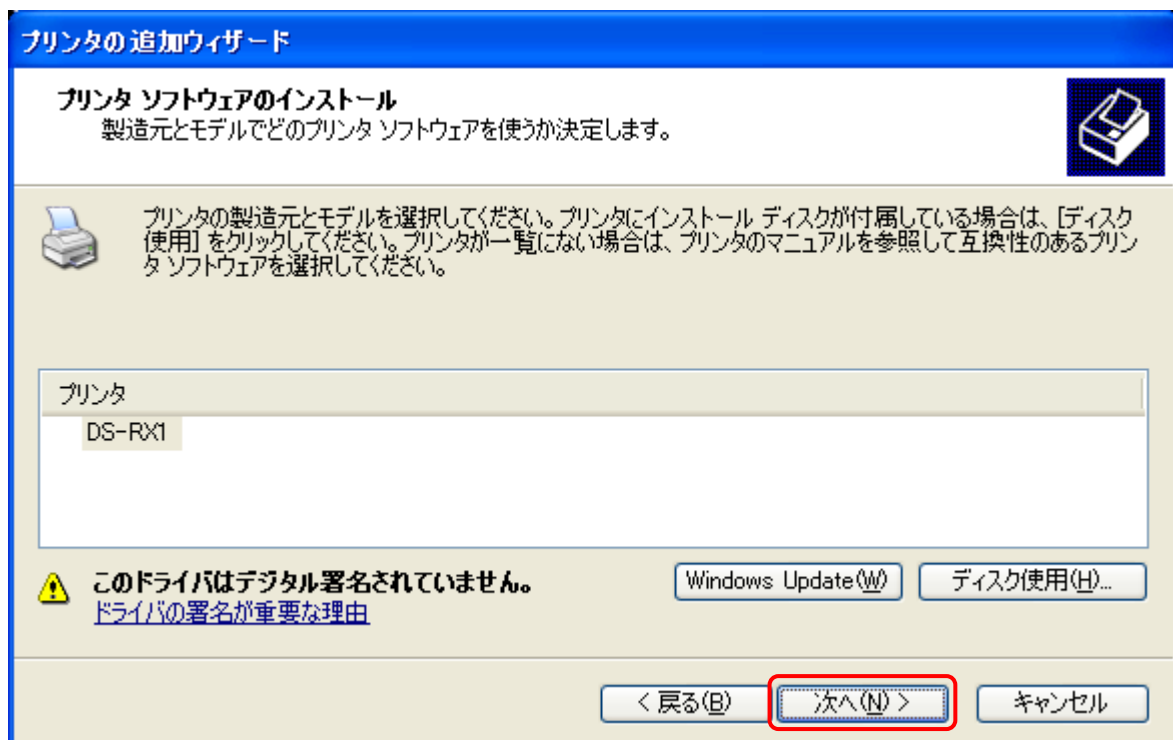


図 1.16 プリンタソフトウェアのインストール

「プリンタ名」の設定画面が表示されたら、プリンタ名を設定します。また、「通常使うプリンタに設定する選択」画面が表示された場合、通常使うプリンタに設定する時は「はい(Y)」を選んで、「次へ(N)」をクリックして下さい。

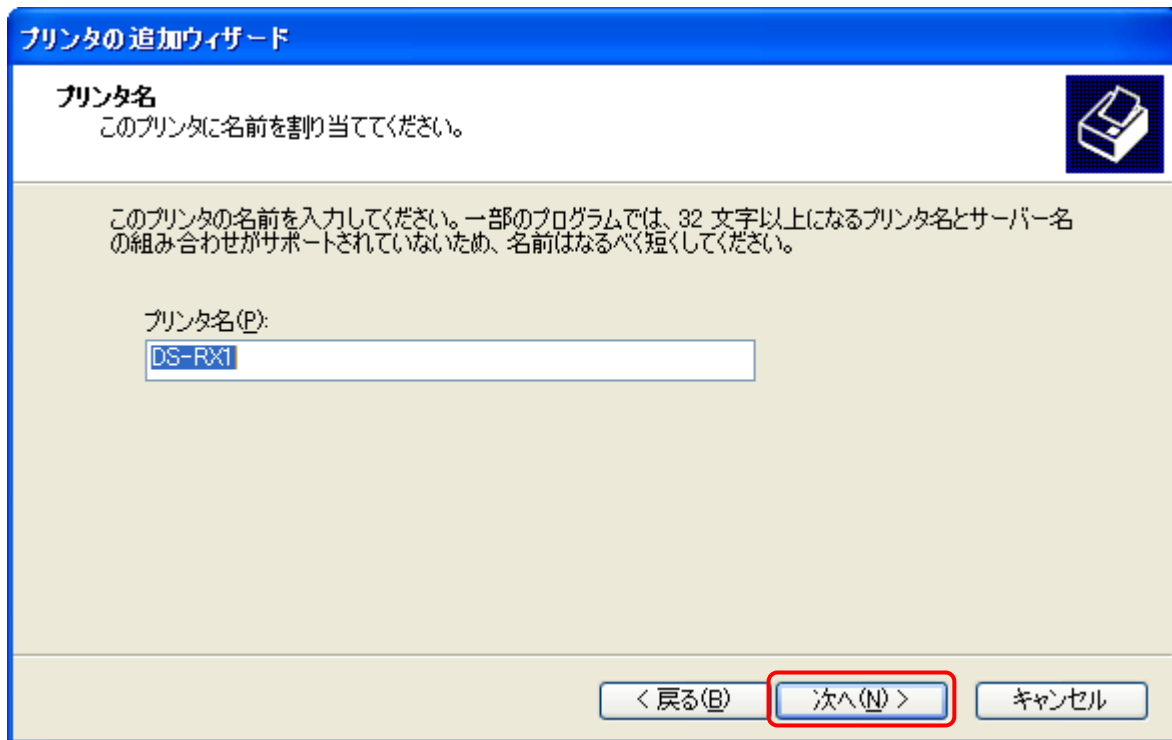


図 1.17 プリンタ名、通常使うプリンタ設定

「テストページの印刷」の選択画面が表示されたら、「いいえ(N)」を選んで、「次へ(N)」をクリックしてください。

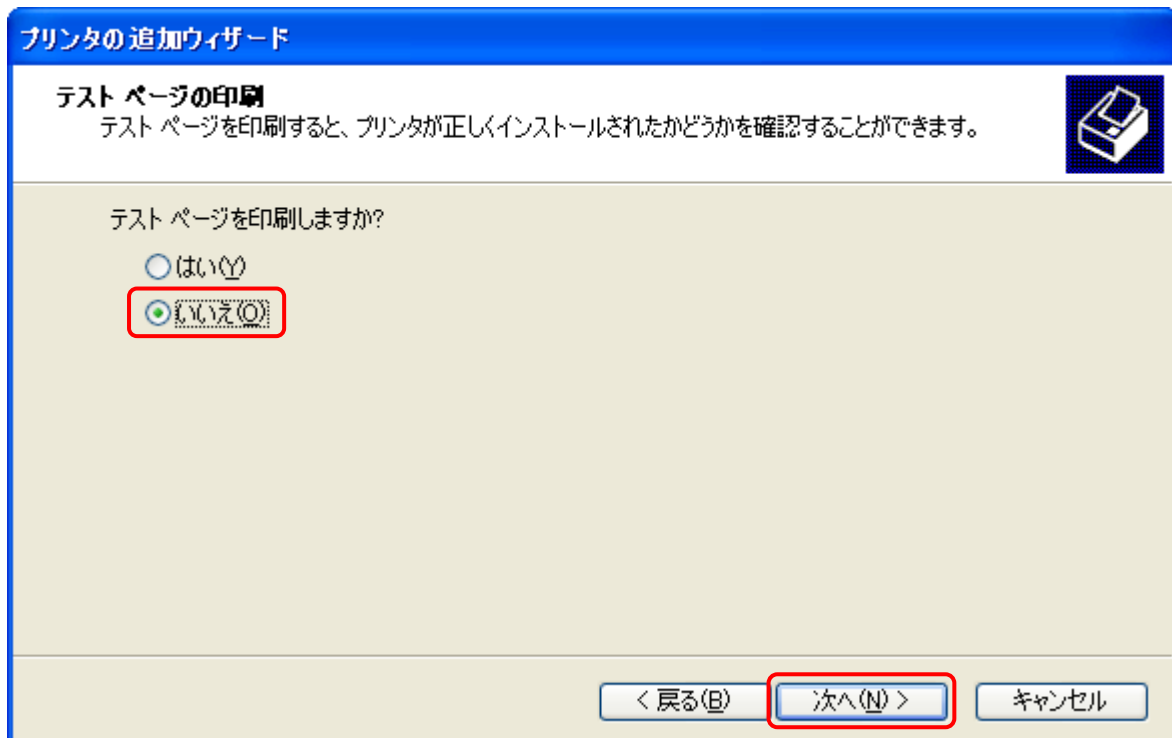


図 1.18 テストページの印刷

「プリンタの追加ウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックしてください。

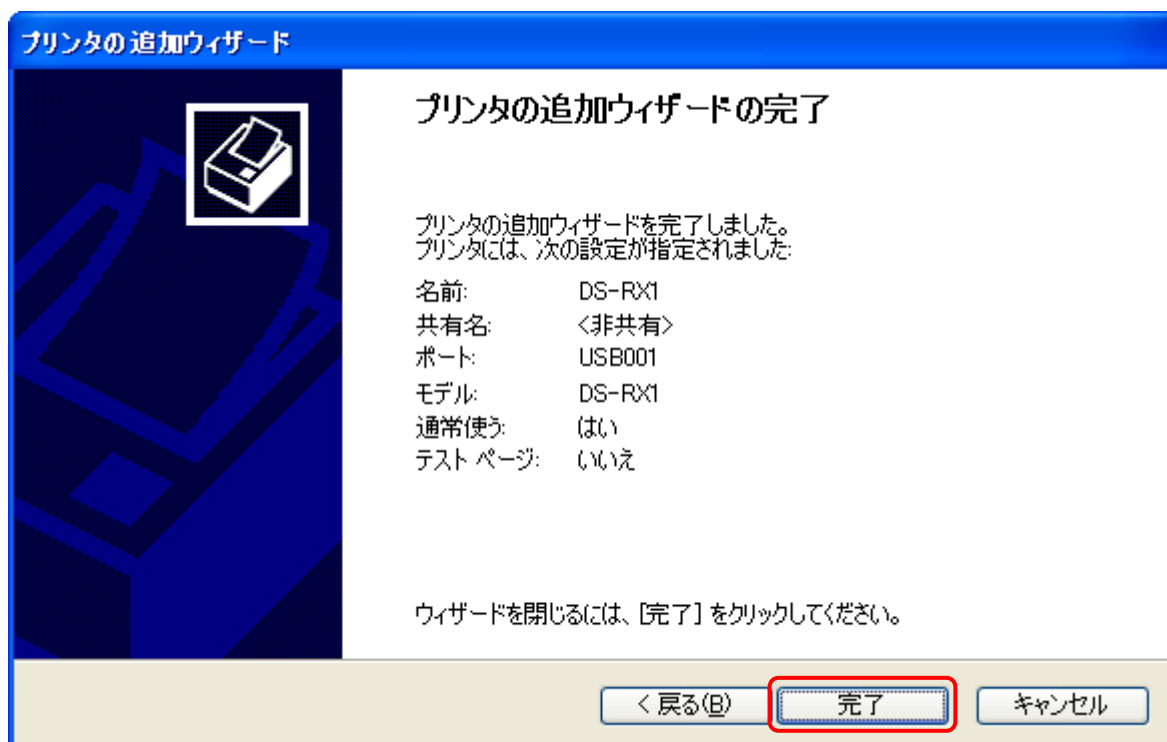


図 1.19 プリンタ追加ウィザードの完了

ソフトウェアをインストールする際に下記のメッセージが表示されます。「続行」をクリックしてインストールを継続してください。

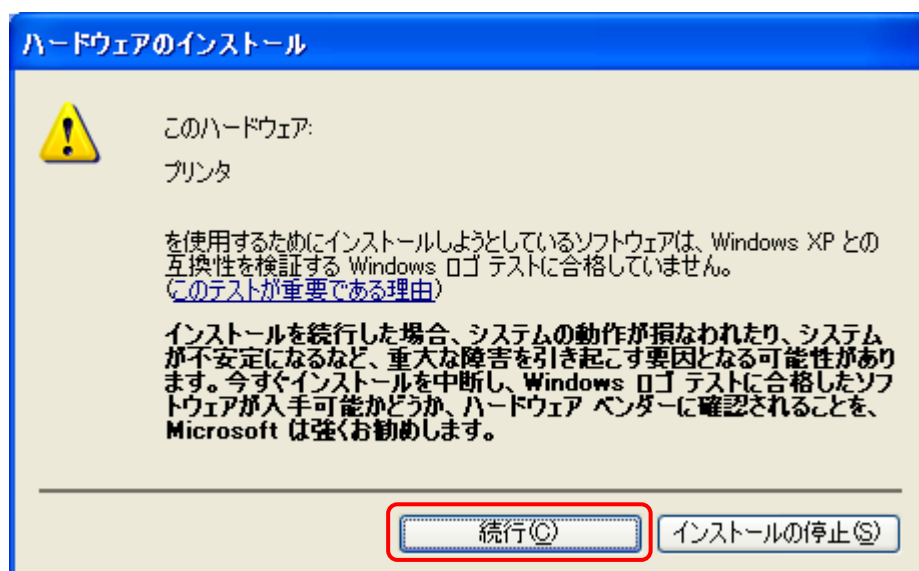


図 1.20 ハードウェアのインストール

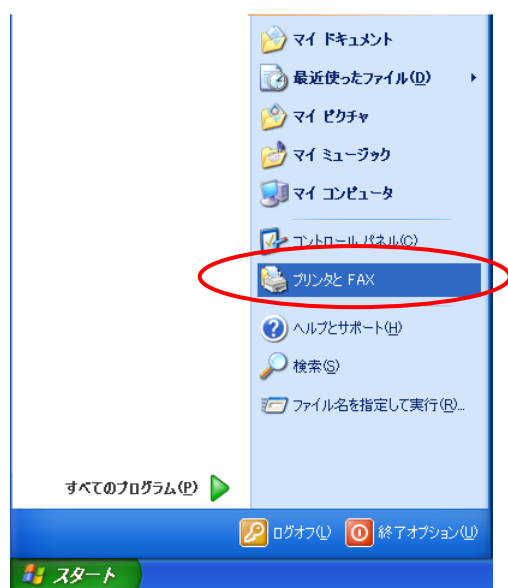
プリンタドライバのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動してください。

第2章 プロパティ

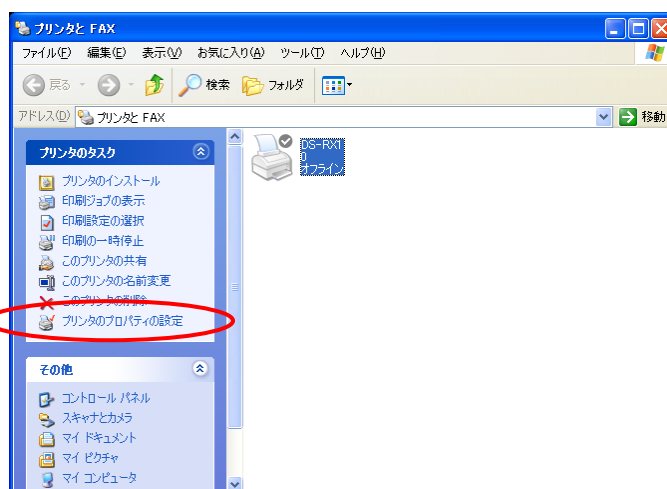
DS-RX1 ドライバのプロパティより、各種プリンタ設定ができます。操作する場合は内容を良く理解した上で使用して下さい。ご使用のアプリケーションによっては、アプリケーション側の印刷設定からの操作が必要です。

2.1 プリンタのプロパティの起動

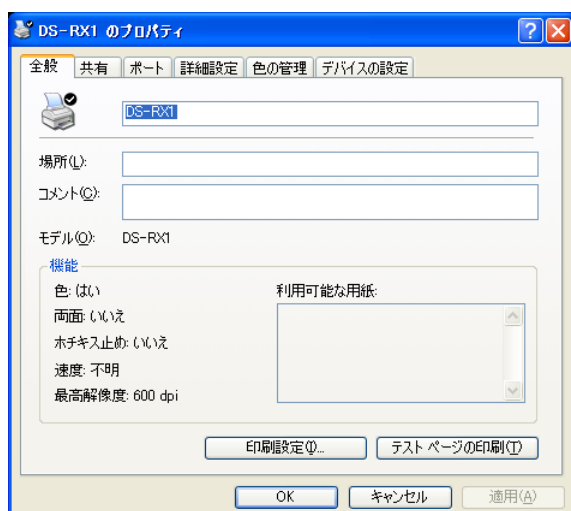
1. スタート ⇒ すべてのプログラム ⇒
プリンタと FAX の起動



2. DS-RX1 プリンタを選択 ⇒
プリンタのプロパティの設定を起動



3. DS-RX1 のプロパティ画面が立ち上がります



2.2 印刷設定機能説明

2.1 プロパティ画面から印刷設定を選択すると、各種印刷設定が出来ます。

2.2.1 レイアウト

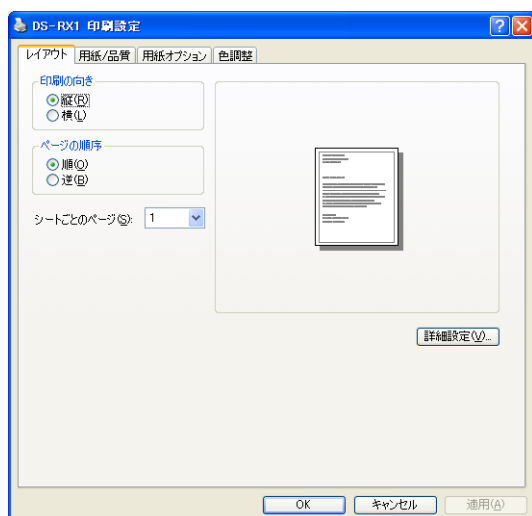


図 2.2.1 レイアウトタブ

印刷の向き

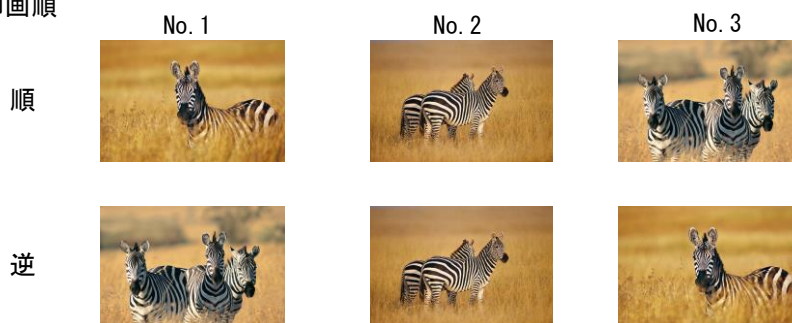
印刷の向き縦、横指定をします。

詳細は [2.6 印刷の向き](#) を参照して下さい。

ページの順序

アプリケーションで、画像を複数枚印画させた場合の順序を指定します。

例) 印画順



シートごとのページ

指定分割サイズの印画をします。通常は 1 を指定して下さい。

例) 分割サイズ



2.2.2 詳細オプション

レイアウトの詳細設定(V)を選択すると、詳細オプションにて各種設定が可能となります。

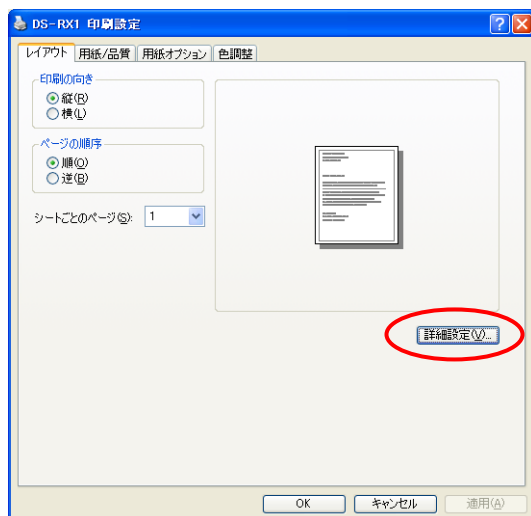


図 2.2.2.1 詳細設定

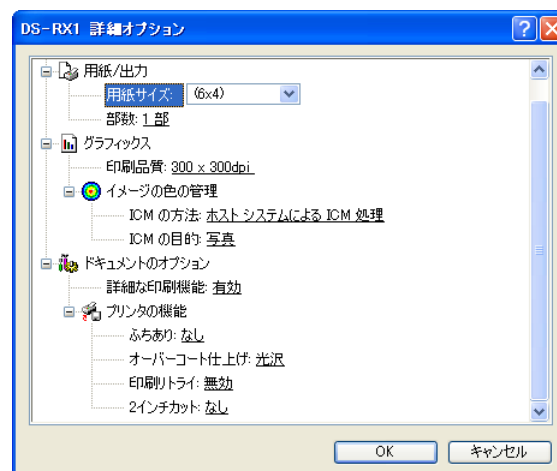


図 2.2.2.2 詳細オプションタブ

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。用紙サイズはプリンタに装着されているメディアサイズに合わせて下さい。用紙サイズの指定により多面割付が可能となります。詳細は後述を参照して下さい。

部数

画像の発行枚数を指定出来ます。

印刷品質

解像度を指定します。

印刷品質	機能
300 x 300dpi	高速モードで印刷
300 x 600dpi	高画質モードで印刷 (縦横で異なる解像度を設定できないアプリケーションでは 600x600dpi 設定でご使用ください)
600 x 600dpi	高画質モードで印刷 (ドライバ内で 300x600dpi サイズに変換してプリンタへ送信します)

ICM の方法

ICM の方法	機能
ICM 無効	2.2.4 用紙オプションの“色調整なし”と同期しています。
ホストシステムによる ICM 処理	2.2.4 用紙オプションの“色調整 ICM”と同期しています。 ドライバでカラーマネージメントを行います。
プリンタによる ICM 処理	この項目を選択した場合“ホストシステムによる ICM 処理”と同じになります。

ICM の目的

ICM を使用する際のレンダリングの方法を指定します。DS-RX1 の ICC プロファイルでは常に“写真”を指定して下さい。他の設定では使用しないで下さい。

詳細な印刷機能

常に“有効”として下さい。他の設定では使用しないで下さい。

ふちあり

用紙オプションのふちありと同期しています。

オーバーコート仕上げ

印画物表面のオーバーコート仕上げ方法を次の 2 種類から指定します。

オーバーコート仕上げ	機能
光沢	光沢タイプの印画物に仕上がります。
マット	つや消しタイプの印画物に仕上がります。

印刷リトライ

プリンタにエラーが発生したときのプリンタバッファ内の印画データを、エラー解除後に印刷するかしないかを設定します。

印刷リトライ	機能
無効	プリンタエラー時のプリンタバッファ内の印画データをクリアします。 エラー解除後、クリアされた印画データを再送信して下さい。 エラーリカバリー機能があるアプリケーションをご使用の際は、こちらを選択して下さい。
有効	プリンタエラー時のプリンタバッファ内の印画データを保持します。 エラー解除後、保持しているデータから印刷処理を再開します。 但し、電源を OFF した場合、データは保持されません。

プリンタエラーの内容によっては、エラー解除にプリンタの電源再投入が必要となる場合があります。この場合は、印刷リトライの設定に関係なく、プリンタバッファ内の印画データはクリアされます。以下に、各エラーでの印刷リトライ設定別動作を示します。

エラー内容	印刷リトライ機能「無効」設定時	印刷リトライ機能「有効」設定時
ペーパーエンド	エラー解除後、印刷されなかった画像データは再送信してください。	エラー解除後、プリンタバッファ内に保持しているデータから印刷処理を再開します。 用紙初期化動作が行われる場合は、用紙初期化動作後に印刷されます。
リボンエンド		
カバーオープン		
ペーパージャム (*1)		
リボンエラー (*1)		
用紙設定ミス	エラー解除にはプリンタの電源を一度 OFF にする必要があるため、印刷リトライ機能の設定に関係なくプリンタバッファ内の印画データはクリアされます。	エラー解除にはプリンタの電源を一度 OFF にする必要があるため、印刷リトライ機能が「有効」に設定されていても、プリンタ電源 OFF により印画データはクリアされます。
データエラー		
ヘッド位置エラー		
電源ファン停止		
カッターエラー		
ヘッド電圧異常	プリンタ再起動後、印刷されなかった画像データは再送信してください。	プリンタ再起動後、印刷されなかった画像データは再送信してください。
ヘッド温度異常		
メディア温度異常		
リボンテンションエラー		
RFID モジュールエラー		
システムエラー		

*1：エラー停止後、プリンタのユーザズマニュアルに従って、用紙またはリボンのエラー要因を取り除いてください。

2 インチカット (ご使用プリンタのファームウェアバージョンによっては「なし」のみの動作となります。)

特定の用紙サイズのときに、2 インチの長さで複数枚にカットするかしないかを設定します。

2 インチカット	機能
なし	通常のサイズでカットします。
あり	(6x4), PR(4x6) サイズの場合は 2 枚に、(6x8) サイズの場合は 4 枚に、2 インチ単位の長さでカットします。

＜多面割付＞

DS-RX1 で 6x8 のメディアを使用した場合、2 画面の割付が可能です。プリンタドライバの用紙設定により多面割付指定が可能となり、画像サイズは次のようになります。

割付指定

ドライバ用紙設定	用紙の向き	画像サイズ 幅 x 高さ (mm)	使用メディア
(6x4) x 2	縦	(156.1x105.0) x 2	6x8
	横	(105.0x156.1) x 2	
PR (4x6) x 2	縦	(105.0x156.1) x 2	6x8
	横	(156.1x105.0) x 2	
画像の割付け中間サイズ		2.54	

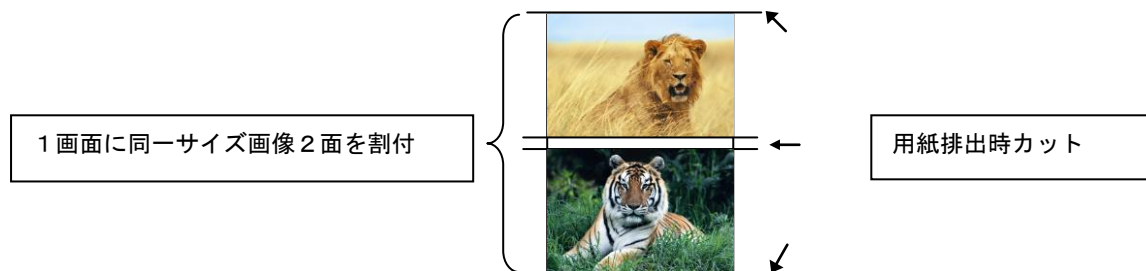
多面割付は以下の条件で動作します。

1. プリンタに 6x8 サイズのメディアを搭載。
2. プリンタドライバの用紙サイズ指定を上記の用紙サイズに指定。
3. アプリケーションから複数の画像を送信。

注) 多面割付は印刷のジョブ単位で行うため、1 ジョブ内に複数のページが有る場合に動作します。
同一画像を割付けたい場合は枚数設定分画像を送信して下さい。
プリンタの動作は 1 度に 2 画面分行われ、用紙排出時にカットを行います。

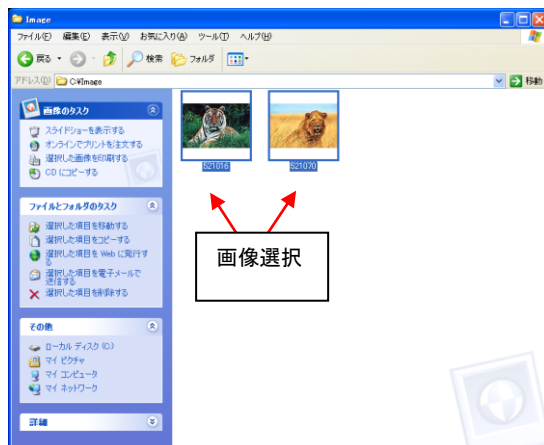
＜多面割付のパターン＞

多面割付のパターンは、次のようになります。

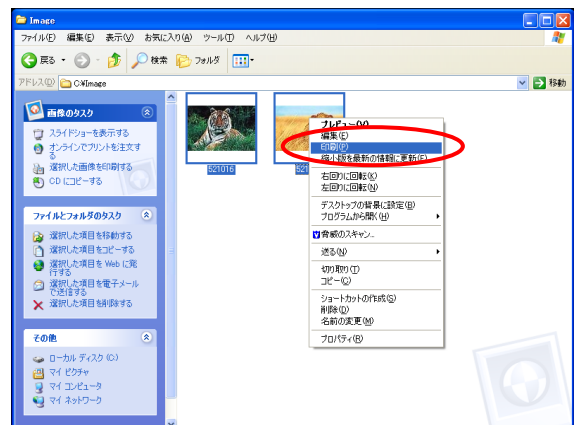


＜アプリケーション使用例＞

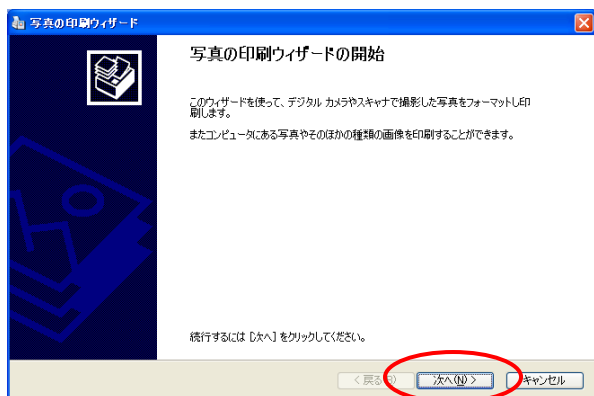
手順 1. エクスプローラ起動後、2 画像以上を選択します。



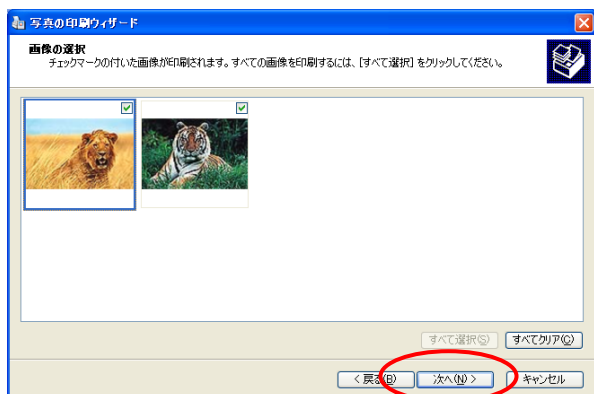
手順 2. イメージの上で右クリックをし、プルダウンメニューから印刷を選択します。



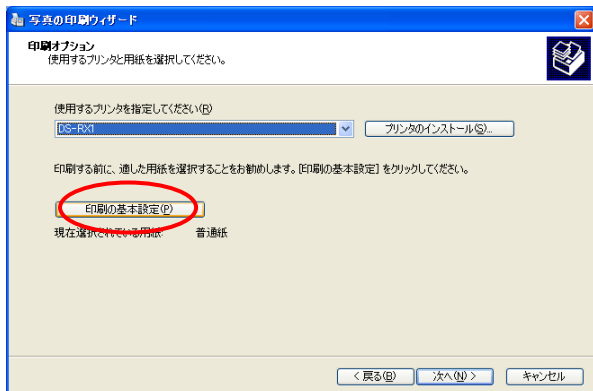
手順3. 「次へ」をクリックします。



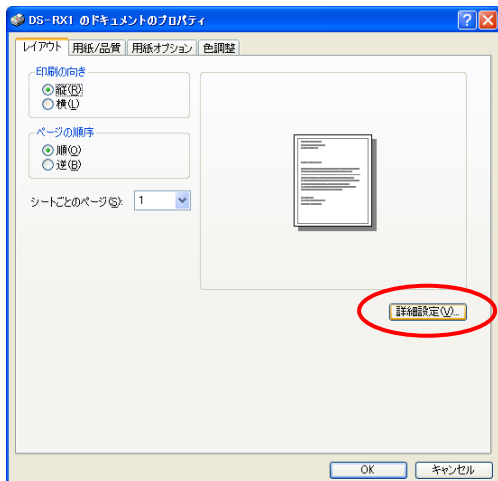
手順4. 「次へ」をクリックします。



手順5. 印刷の基本設定を指定。

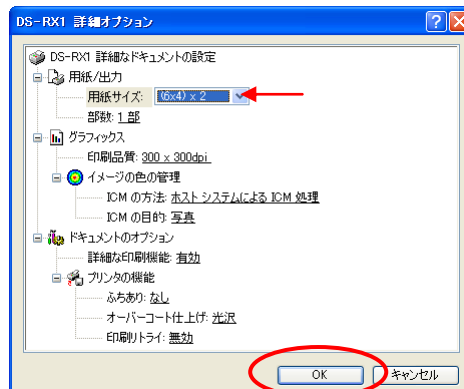


手順6. 詳細設定を指定します。

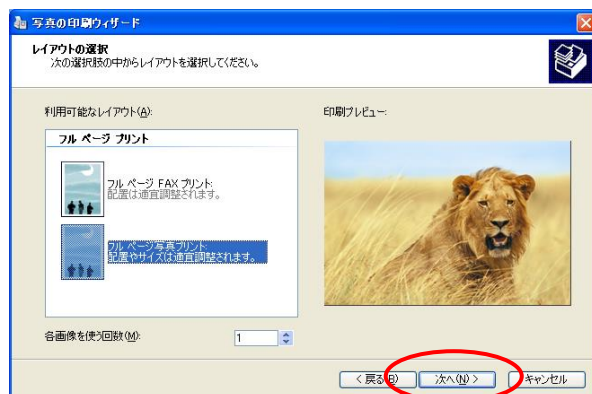


手順7. 用紙サイズを"6x4x2"に設定にします。

7⇒6の順にOKを押して5.の表示まで戻ります。



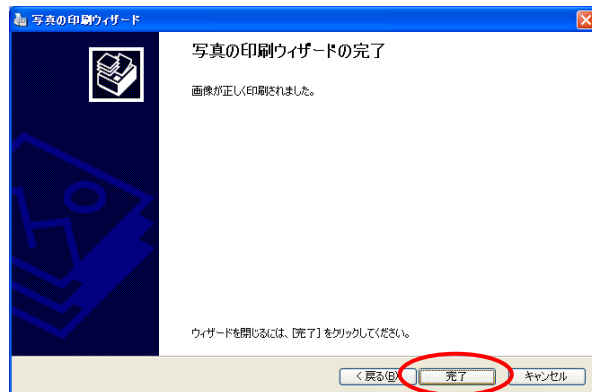
手順8. 「次へ」をクリックします。



手順9.



手順10. 完了します。



2.2.3 用紙／品質

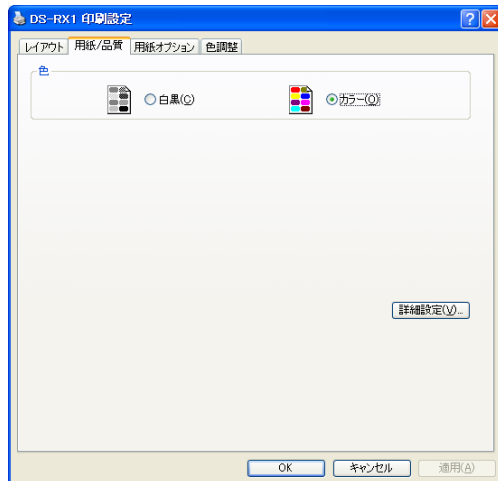


図 2.2.3 用紙／品質タブ

色 カラー固定として下さい。白黒では使用しないで下さい。

2.2.4 用紙オプション

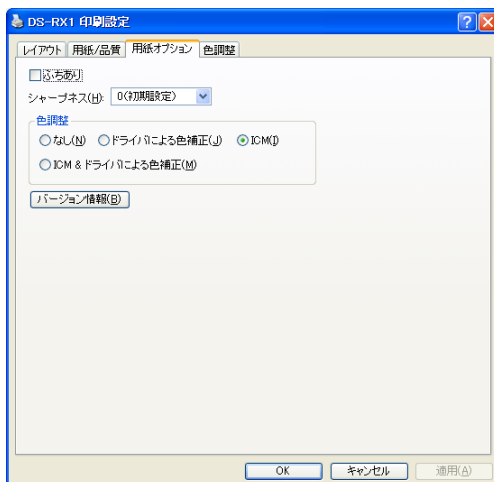


図 2.2.4.1 用紙オプションタブ

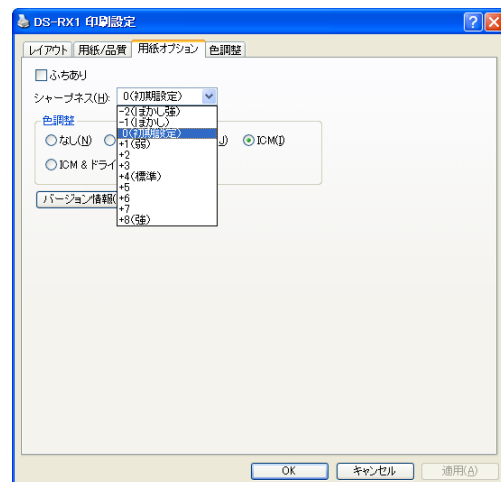


図 2.2.4.2 シャープネスの設定

ふちあり

印画のふちあり/なしを指定します（チェックがふちあり）。詳細設定のふちあり/なしと同期しています。

シャープネス

11 段階でシャープネス処理を行います（図 2.2.4.2）。0（初期設定）はシャープネス処理を行いません。

マイナス（－）側はぼかし、プラス（＋）側はシャープネス処理を行います。

色調整

なし

詳細設定の ICM の方法と同期しています。この項目をチェックすると ICM 無効で、色調整タブも無効となりドライバでの色調整は行いません。

ドライバによる色補正

この項目をチェックすると ICM が無効となり、2.2.5 色調整が有効となります。ガンマ、ブライトネス、コントラスト、彩度の各項目の調整値が反映されます。

ICM

詳細設定の ICM の方法と同期しています（ホストシステムによる ICM 処理）。ここをチェックするとドライバにてカラーマネージメントを行います。

ICM & ドライバによる色補正

この項目をチェックすると ICM（カラーマネージメント）と 2.2.5 色調整が有効になります。

バージョン情報

ドライバのバージョンを表示します。

2.2.5 色調整

2.2.4 用紙オプションの ドライバによる色補正 をチェックすると、色調整タブの各種調整値が画像に反映されます。

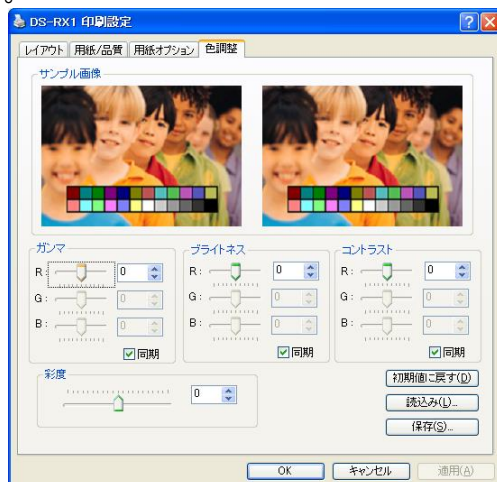


図 2.2.5 色調整タブ

色調整タブでの設定範囲は以下のようになります。

調整項目	調整値
ガンマ	-100 (暗) ~ 100 (明) (0 は調整無し、 $\gamma 2.0 \sim 0.5$) 画像の中間調部の濃度を調整します。ガンマの値が大きい程、中間調部が明るくなります。 同期チェックボックス ON: RGB を同じ値に設定します。 OFF: RGB を異なった値に設定します。
ブライトネス	-100 (暗) ~ 100 (明) (0 は調整無し) 画像のブライトネスを調整します。値が大きい程、画像全体が明るくなります。 同期チェックボックス ON: RGB を同じ値に設定します。 OFF: RGB を異なった値に設定します。
コントラスト	-100 (弱) ~ 100 (強) (0 は調整無し) 画像のコントラストを調整します。値が大きい程、明暗の差が広がります。 同期チェックボックス ON: RGB を同じ値に設定します。 OFF: RGB を異なった値に設定します。
彩度	-100 (弱) ~ 100 (強) (0 は調整無し) 画像の彩度を調整します。

2.3 各設定項目の初期値

各設定の初期値（インストール時の設定）を示します。設定変更を行いプリンタドライバが正常に動作しなくなったときには、次に示す初期値に戻してください。

注) OS のサービスパックや使用環境によっては、インストール時の初期値が下表と異なる場合があります。

タブ	設定項目			設定値
レイアウト	印刷の向き			縦
	ページの順序			順
	シートごとのページ			1
用紙/品質	色			カラー
用紙オプション	ふちあり			チェックなし（ふちなし）
	シャープネス			0（初期設定）
	色調整			ICM
色調整	ガンマ			0
	ブライトネス			0
	コントラスト			0
	彩度			0
詳細設定 （レイアウトタブの 「詳細設定」ボタン をクリック）	用紙/出力	用紙サイズ		(6 x 4)
		部数		1
	グラフィックス	印刷品質		300 x 300dpi
		イメージの 色管理	ICM の方法	ホストシステムによる ICM 処理
			ICM の目的	写真
	ドキュメントの オプション	詳細な印刷機能		有効
		プリンタの機能	ふちあり	なし
			オーバーコート仕上げ	光沢
			印刷リトライ	無効
			2 インチカット	なし

表 2.3 印刷設定初期値

2.4 色の管理

「色の管理」ではカラープロファイルを指定します。インストーラーはデフォルトで「RX1_xxxx.icc」を関連付けます。xxxx はバージョンを表します。

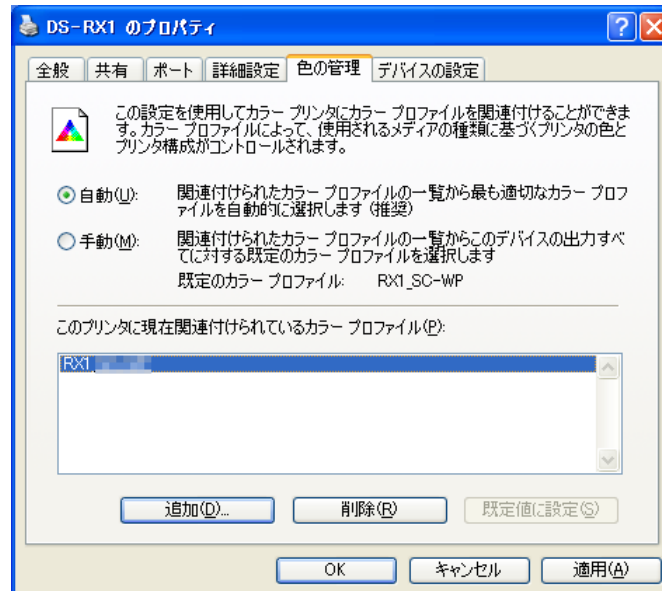


図 2.4 色の管理タブ

2.5 画像サイズ

ドライバの用紙サイズ、用紙の向きの指定で生成される画像サイズ及びドット数は次のようになります。

用紙サイズ	印刷の向き	画像サイズ (幅 x 高さ)		画像ドット数 (幅 x 高さ)		
		(inch)	(mm)	300 x 300 DPI	300 x 600 DPI	600x600 DPI
(5x3.5)	縦	5" x 3.5"	131.1 x 92.1	1548 x 1088	1548 x 2176	3096 x 2176
	横	3.5" x 5"	92.1 x 131.1	1088 x 1548	2176 x 1548	2176 x 3096
(5x5)	縦	5" x 5"	131.1 x 130.4	1548 x 1540	1548 x 3080	3096 x 3080
	横	5" x 5"	130.4 x 131.1	1540 x 1548	3080 x 1548	3080 x 3096
(6x4) (6x4) x 2	縦	6" x 4"	156.1 x 105.0	1844 x 1240	1844 x 2480	3688 x 2480
	横	4" x 6"	105.0 x 156.1	1240 x 1844	2480 x 1844	2480 x 3688
(5x7)	縦	5" x 7"	131.1 x 181.0	1548 x 2138	1548 x 4276	3096 x 4276
	横	7" x 5"	181.0 x 131.1	2138 x 1548	4276 x 1548	4276 x 3096
(6x6)	縦	6" x 6"	156.1 x 155.4	1844 x 1836	1844 x 3672	3688 x 3672
	横	6" x 6"	155.4 x 156.1	1836 x 1844	3672 x 1844	3672 x 3688
(6x8)	縦	6" x 8"	156.1 x 206.2	1844 x 2436	1844 x 4872	3688 x 4872
	横	8" x 6"	206.2 x 156.1	2436 x 1844	4872 x 1844	4872 x 3688
PR (3.5x5)	縦	3.5" x 5"	92.1 x 131.1	1088 x 1548	2176 x 1548	2176 x 3096
	横	5" x 3.5"	131.1 x 92.1	1548 x 1088	1548 x 2176	3096 x 2176
PR (4x6) PR (4x6) x 2	縦	4" x 6"	105.0 x 156.1	1240 x 1844	2480 x 1844	2480 x 3688
	横	6" x 4"	156.1 x 105.0	1844 x 1240	1844 x 2480	3688 x 2480

2.6 印刷の向き

印刷の向きの指定に於いて、アプリケーションが生成する画像イメージ、印刷物（出力方向）の関係は次表のようになります。生成画像は、アプリケーションが元画像の回転を行わず、2.5 画像サイズに示すサイズ内に収まるよう拡大縮小を行なった場合のイメージです。

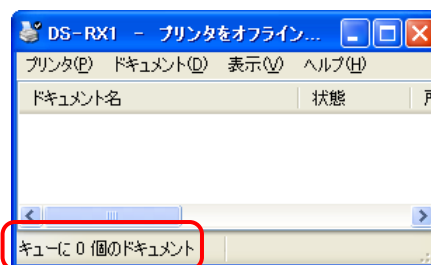
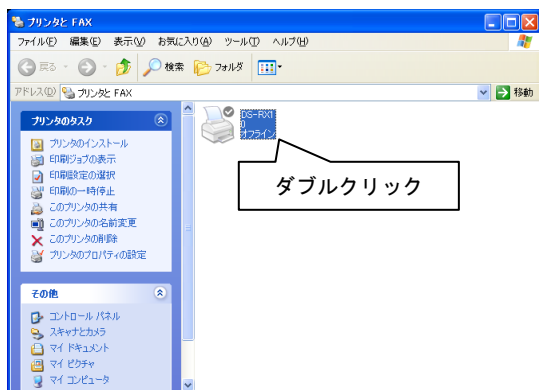
元画像	ドライバの設定						
	印刷の向き	用紙設定					
		(5x3.5) (5x5) (6x4) (6x4) x 2 (6x6)		PR (3.5x5) PR (4x6) PR (4x6) x 2		(5x7) (6x8)	
		生成画像	印刷物 (出力方向↓)	生成画像	印刷物 (出力方向↓)	生成画像	印刷物 (出力方向↓)
	縦						
	横						
	縦						
	横						

第3章 ドライバの更新

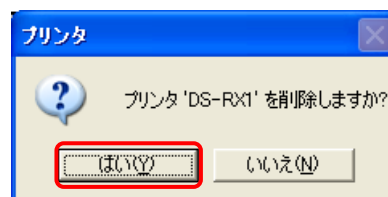
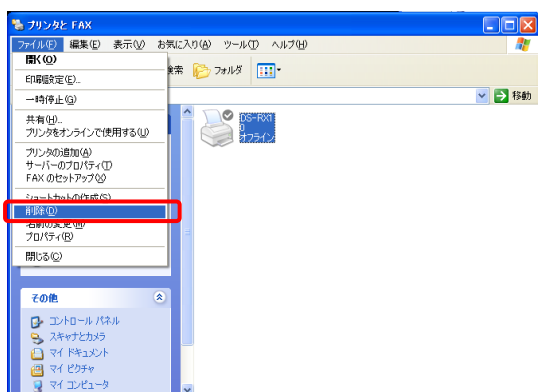
プリンタドライバを更新する場合、以下の手順でプリンタドライバの更新を行ってください。

1. ドライバの削除

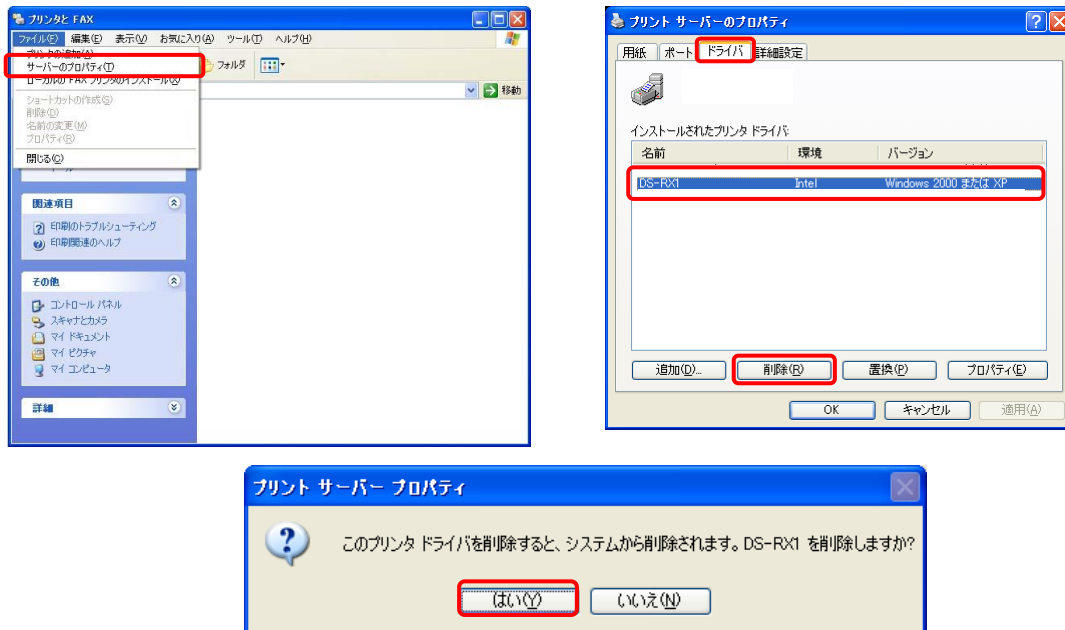
- (1) プリンタドライバの削除を行う前に、すべてのアプリケーションを終了して下さい。また、削除対象プリンタのアイコンをダブルクリックし、キューにドキュメントが無いことを確認した後、ドライバの削除を開始して下さい。



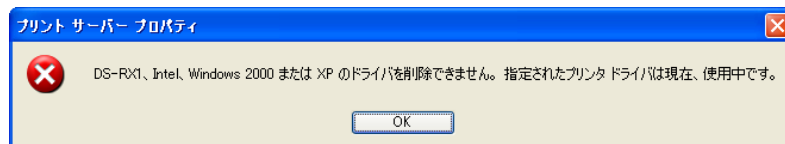
- (2) プリンタと FAX 画面より、DS-RX1 プリンタを選択。ファイル(F)⇒削除(D)を選択します。
プリンタ 'DS-RX1' を削除しますか?⇒はい(Y) を選択してプリンタを削除します。



(3) DS-RX1 プリンタが削除された後、同じくファイル(F)⇒サーバーのプロパティ(T)を選択します。プリントサーバーのプロパティダイアログが表示されドライバタブを選択します。ドライバ DS-RX1 を選択した後、削除(R)を選択すると確認画面が現れ、はい(Y)を選択するとドライバが削除されます。削除後はパソコンを再起動してください。

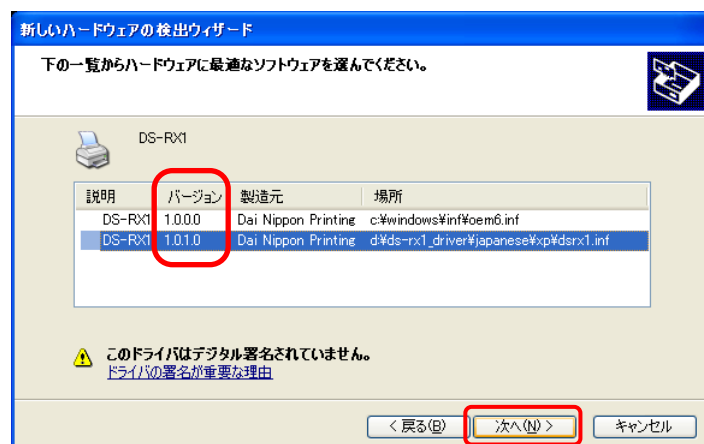


注意) プリンタドライバの削除を行う時に、以下のエラーメッセージが表示された場合、パソコンを再起動して下さい。パソコンが再起動した後、再度プリンタドライバの削除を行って下さい。



2. プリンタドライバのアップグレードインストール

プリンタとプリンタドライバを削除後、新しいプリンタドライバをインストールして下さい。インストールの手順は、[第1章 インストール]をご覧下さい。インストールの途中で、下記画面が表示された場合には、“バージョン”の部分を確認し、最新のバージョンを選択して 次へ(N) ボタンを押して下さい。



3. パソコンの再起動

プリンタドライバのインストールが完了したら、必ずパソコンを再起動して下さい。
(インストール直後に印刷を行わないで下さい。必ず1度パソコンを再起動して下さい。)

第4章 ドライバの削除

プリンタドライバを削除する場合の手順は、第3章の“1. ドライバの削除”をご覧ください。

Dai Nippon Printing Co., Ltd.